



# 栗橋音頭 大神輿 阪東太鼓

## 坂東栗橋感懐 6

加藤 良一 令和6年(2024) 7月11日

今年の夏は記録的な暑さが続いています、そんな暑さを吹き飛ばすようなお祭りがあちこちではじまりました。ここ埼玉県久喜市栗橋でも昔から伝わる夏祭りが催されます。

「くりはし夏祭り」は、7月20日(土)～21日(日)、JR宇都宮線／東武日光線栗橋駅の東側一体で、八坂神社の大神輿おおみこしの渡御とぎよや板東太鼓、栗橋音頭の踊り上手コンテストも予定されています。



八坂神社の大神輿(天王様)



遷座後の栗橋宿総鎮守 八坂神社

八坂神社の大神輿おおみこしは、明治天皇の栗橋ぎょうこう行幸の際にも披露されたという歴史ある御神輿おみこしです。栗橋地区の総鎮守そうちんじゆのお祭りとして、親しまれ、受け継がれています。

昭和45年(1970年)の解体修理の時に『天王宮御輿文久三亥十月吉祥日』と記された棟札が発見されました。文久三亥十月とは1863年10月のことです。

大輪幅四尺六寸五分(1.41メートル)、高さ六尺五寸(1.97メートル)、その大きさや、精巧さ、壮麗さ、重厚感のある作りが特徴の超重量級の神輿です。全国的にも珍しい豪快な神輿振りといわれており、勇壮な掛け声、担ぎ方、法螺貝の響き等、その伝統は氏子達によって大切に受け継がれてきました。平成2年(1990年)秋に行われた天皇の御大典を記念して阪東神輿會が結成されています。



「栗橋音頭」は、男声合唱団コール・グランツが2024年12月のコンサートで初演を予定している 合唱とピアノのための民謡交響詩〔坂東栗橋感懐〕の最後を飾る曲です。詳しくは末尾のバックナンバーをご覧ください。

< バックナンバー > 2024年

<a href="#">❖No.5</a>	6月20日	「坂東栗橋感懐」に寄せて	土田耕太郎
<a href="#">❖No.4</a>	5月27日	下總皖一と民謡を創った 詩人・高橋 郁	加藤良一
<a href="#">❖No.3</a>	5月15日	地元愛溢れる新民謡 「音頭」は地域を作る	加藤良一
<a href="#">❖No.2</a>	4月10日	和声学の神様と言われた下總皖一の業績	加藤良一
<a href="#">❖No.1</a>	4月2日	男声合唱団コール・グランツ創立35周年記念委嘱新作 合唱とピアノのための民謡交響詩「坂東栗橋感懐」	加藤良一

Back

坂東栗橋感懐TOPへ

Home

HOME PAGEへ